

EU Indicators

欧州経済指標コメント：2月ドイツIfo企業景況感

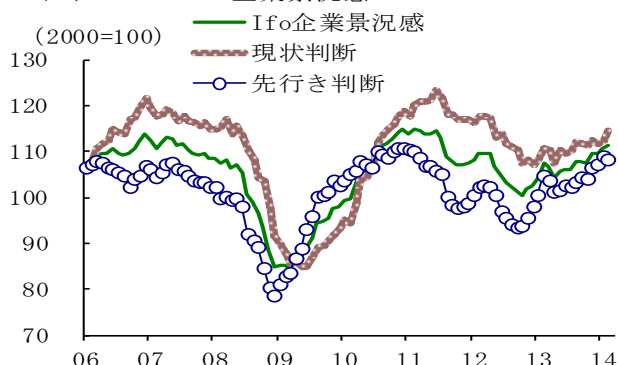
発表日：2014年2月24日(月)

～ドイツに内需拡大圧力～

第一生命経済研究所 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

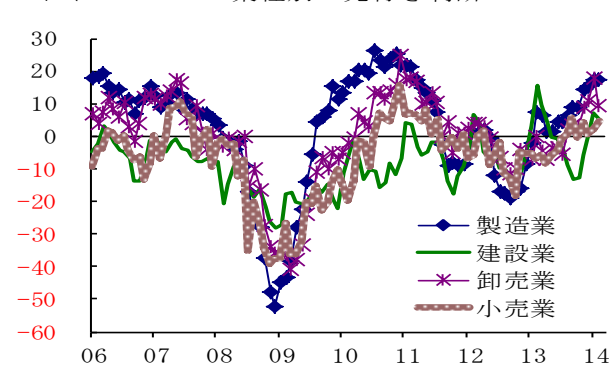
- ・ 2月のドイツのIfo企業景況感指数は4ヶ月連続で改善し、2011年7月以来の水準に復帰した(左図)。内訳は先行き判断が4ヶ月振りにやや低下したものの、現状判断が大きく改善し、ヘッドラインの指数を押し上げた。現状改善・先行き鈍化のパターンは既報のZEW指数と同様。新興国景気の動揺や米中景気の減速懸念で先行きの業況判断がやや慎重化しているが、景気回復期待を大きく削ぐものではない。失業率が一段と低下傾向にあるなど、回復の動きは着実に内需へ波及している。
- ・ 業種別の先行き判断は、製造業、建設業、卸売業の業況が慎重化した一方、小売業が改善(右図)。小売業の業況改善は内需への回復浸透を裏付ける。全業種が業況判断の分岐点であるゼロを上回っており、改善トレンドが崩れる気配はない。同時に発表されたサービス業の業況判断は、現状・先行き判断が揃って低下したが、何れも堅調な拡大を示唆する水準を維持している。
- ・ 週末のG20会合では世界の経済成長率を2%押し上げる数値目標で合意。ドイツ政府は難色を示しているが、巨額の経常黒字を抱えるドイツに対して、内需拡大を求める圧力が高まることは必至。ドイツでは不動産価格の上昇など一部で気懸かりな動きも出ているが、今のところ資産・賃金インフレ圧力の高まりを懸念すべき段階にはない。政策の大転換は期待できないが、有形・無形の外圧を通じて、脆弱なユーロ圏の景気回復を後押しし、デフレ転落を食い止めるうえでややポジティブな内容と評価。

■ ドイツ：Ifo企業景況感



出所：Ifo

■ ドイツ：Ifo業種別の先行き判断



出所：Ifo

■ ドイツ企業景況感 (季節調整済み)

	2013				2013						2014	
	1Q	2Q	3Q	4Q	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
ZEW景況感(先行き)	42.7	37.1	42.6	56.5	36.3	42.0	49.6	52.8	54.6	62.0	61.7	55.7
現状指数	8.6	8.9	19.8	30.3	10.6	18.3	30.6	29.7	28.7	32.4	41.2	50.0
Ifo景況感(総合)	106.1	105.3	107.2	108.8	106.1	107.6	107.8	107.5	109.4	109.5	110.6	111.3
現状指数	109.5	108.9	111.1	111.7	110.0	112.0	111.4	111.3	112.3	111.6	112.4	114.4
先行き指数	102.9	101.8	103.4	106.0	102.3	103.4	104.4	103.9	106.6	107.4	108.9	108.3
PMI製造業指数	49.7	48.7	51.2	52.9	50.7	51.8	51.1	51.7	52.7	54.3	56.5	54.7
サービス業指数	53.8	49.9	52.6	54.0	51.3	52.8	53.7	52.9	55.7	53.5	53.1	55.4

出所：ZEW、Ifo、Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。